

# 廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27-R2）の振り返り

## 1 計画期間中の改訂経緯について

- 平成27年10月に策定した廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略という。）は、毎年度 KPI の達成状況を把握するとともに、外部有識者で構成される廿日市市総合戦略推進会議（以下、推進会議という。）等による効果検証を行ってきている。
- 毎年度の効果検証結果や国の総合戦略の改訂状況等を踏まえ、総合戦略の改訂を行うことで、本市総合戦略の推進を行ってきた。
- また、総合戦略の効果検証方法も毎年見直しを行い、平成30年度推進会議より KPI と定性評価による施策評価を行っている。

（各年度の推進会議における主な意見と総合戦略実施・改訂内容）

開催年度	推進会議の意見	総合戦略実施・改訂内容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略を市民に浸透させるため、市民に対して露出を増やす必要がある。</li> <li>子育てしながらの就職は勤務条件の合致が難しい現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略イベント（ウーマンライフはつかいち）を開催した。</li> <li>ダイバーシティ経営の普及や保育・放課後児童対策への取組みを加筆した。</li> <li>地方創生加速化交付金事業を実施した。</li> </ul>
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業を仕事とする場合、就農希望者が求めるだけの対価が得られるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元農産物の付加価値や生産量の増加させるため、地元生産者と実需者のマッチングを行った。</li> <li>小中学校における働き方改革の推進を加筆した。</li> </ul>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>イクボスの普及については、商工会などの組織体に働きかける取組が効果的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県知事と市内事業者がイクボスについてディスカッションを行うイベントを開催した。</li> <li>多文化共生のまちづくりを推進する小見出しを加筆した。</li> </ul>
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価欄と実施欄の記述が混在している。</li> <li>施策への有効性と関連しない KPI があるので、KPI 設定の研究が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の評価方法や KPI 設定については、第2期総合戦略策定と並行して研究を行うこととした。</li> <li>ICTを活用した農地管理や経営管理の効率化について加筆した。</li> </ul>

## 2 人口の動向について

(1) 廿日市市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂前）における人口の将来展望

推計	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27) ※1	2040 (R22)
国立社会保障・人口問題研究所推計(2013)	115,530 人 (国勢調査実績)	114,038 人 (国勢調査実績)	111,722 人 (推計値)	89,410 人
改訂前将来展望推計	115,530 人 (国勢調査実績)	114,038 人 (国勢調査実績)	112,735 人 (推計値)	99,493 人 ※2

※1・・・2015年の国勢調査実績は114,906人

※2・・・将来展望を100,000人と設定

推計条件	自然動態	社会動態
国立社会保障・人口問題研究所推計(2013)	2010 (H22) の全国子ども女性比と廿日市市の子ども女性比との比を取り、2040 (R22) まで一定	H17～H22 の社会動態が H27～R2 までに0.5倍に縮小し、その後一定
改訂前将来展望推計	出生率が2030 (R12) までに1.83、2040 (R22) に2.07へ上昇	2030 (R12) までに転出入が均衡

(2) 計画期間中の動向 (H29 までは廿日市市統計書、H30 からは広島県人口移動統計調査 廿日市市 HP、廿日市市資料)

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
社会動態	-275 人	236 人	186 人	600 人	207 人	86 人	
住民基本台帳人口(4/1)	117,182 人	117,128 人	116,947 人	117,157 人	117,487 人	117,215 人	
自然動態	出生数	925 人	900 人	856 人	906 人	813 人	793 人
	合計特殊出生率	1.41	1.40	1.39	1.46	1.36	—

### 3 基本目標別の主な数値目標・KPI について

#### 基本目標 1 (しごと)

「はつかいちの「産業」はニュースにあふれている!!!～そこ！に着目するはつかいち～」

数値目標：市内従業者数 (経済センサスー活動調査)

H26 現状値 39,944 人 (H24 調査) R2 目標値 40,000 人 R2 実績 43,360 人 (H28 調査)

- 市内事業所数は 4,225 (H23) から 4,445 (H28) に増加した。(経済センサス活動調査)  
特に、「卸売業・小売業」(144 増加) や「宿泊業・飲食サービス業」(51 増加) が増加しており、平成 27 年に開業した市内大型商業施設の影響があったと考えられる。

#### 基本目標 2 (ひと)

「住みたくなる！ちょうどいいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～」

意外と知らない、住み続けたい魅力いっぱいのもち

数値目標：社会動態 (広島県人口移動統計調査 (甲調査))

H26 現状値 (-275 人) R2 目標 転入超過 R1 実績 転入超過 (86 人)

- 0 歳から 14 歳までと 30 代から 40 代の転入超過数が多くなっていることから、子育て世代の方に転入先として選ばれています。

#### 基本目標 3 (ひと)

「子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事

子どもたち、みんな“はつかいちの子”～みんなで子育て～

数値目標：ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業数 (累計 廿日市市資料)

(次世代育成支援対策促進法に基づく一般事業主行動計画策定状況)

H26 現状値 74 社 R2 目標値 82 社 R2 実績 99 社

- 平成 27 年より従業員数 101 人以上の中小企業も大企業同様策定が義務化された。

#### 基本目標 4 (まち)

「「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～」

数値目標：まちに愛着があると答える人の割合 (まちづくり市民アンケート)

H26 現状値 81.9% R2 目標値 85.0% R2 実績 78.4%

- まちへの愛着については、平成 28 年度に 75.4%へ減少し、その後 70%台後半が続いている。
- 地域別では、廿日市地域と吉和地域で 80%を超える実績が複数回あった一方、佐伯・大野・宮島地域では計画期間中に 80%を超える実績は無かった。